

中谷礼仁・歴史工学研究室

2014年度 卒業論文参考テーマ

2014年1月14日作成 中谷礼仁研究室連絡先 <http://www.nakatani-seminar.org/2009/contact.html>

本庄煉瓦倉庫保存活用プロジェクト

本庄市にある明治の貴重な煉瓦倉庫の保存活用プロジェクトを行う。本活動は2012年度より複数の研究室との合同プロジェクトとして進められてきた。本庄市からの要請のもと、これまでに実測、文化財評価を行い、活用のための企画・基本設計を提案した。現在、本倉庫の実施設計を行っており、展示スペースならびに多目的スペースへの活用を検討している（福島加津也と協働）。2014年度は実施設計（2015年春竣工予定）の他、展示計画とその運営（2015年度中開館予定）を検討する（丸茂）。

1. 埼玉県本庄市旧中山道沿いに点在する旧家の「蔵」研究
(丸茂 wvy.yuri1025@gmail.com)

2. 本庄市における煉瓦造建築の普及に関する研究
(丸茂 wvy.yuri1025@gmail.com)

3. 本庄市の映画・写真を用いた町並み復原および変遷分析に関する研究
(本橋 eriyori@gmail.com)

4. 交通網の変遷と本庄市の発展—中山道・高崎線・利根川—
(廣瀬 syotarohirose@gmail.com)

持続的環境・建造物群継承地区〈千年村〉研究ゼミ

千年以上にわたって継続した、無名の集落を見出し評価するプロジェクト。全国の村々をたずね、フィールドワークと文献調査を行う。〈環境〉〈集落構造〉〈共同体〉の3つの重なりあいから〈千年村〉のひみつを解き明かす。2013年度は土石流被害が生じた伊豆大島をたずね、住民の方々とともに調査をおこなった。関東と関西に研究拠点をもち、民俗学、地質学、ランドスケープデザイン、社会工学デザイン、ウェブデザイン、建築史学など多分野の研究者による合同プロジェクト。関東研究拠点は中谷研究室のほか、千葉大学木下剛研究室（造園学）、早稲田大学佐々木葉研究室（景観・土木史）、石川初（ランドスケープデザイン）、福島加津也（建築家）、元永二郎（プログラマー）らによる体制（堀井）。

1. 集落における墓地 印旛沼周辺を事例として
～集落構成要素の変遷に関する研究1～
(堀井 t.horii1008@gmail.com)

2. 水の獲得方法が集落構造に与える影響
～集落構成要素の変遷に関する研究2～
(田熊 ryuki.taguma@gmail.com)

3. 不在地主の研究
～都市と農村の歴史研究～
(小林 chihirokobayash@gmail.com)

4. 集落移動の研究 伊豆大島を事例として
～災害に対する集落の研究～
(廣瀬 syotarohirose@gmail.com)

建築史系研究室・卒業論文説明会

(中川武研究室と合同)

日時：1月29日15時～16時

場所：55号館S棟2階第三会議室

建築史系研究室 個別説明会・オープンルーム

中川研究室 日時：2月13・14日13時～17時

※中川先生との面談可能な時間帯は15～17時

場所：中川研究室

中谷研究室 日時：2月13・14日13時～17時

※中谷先生との面談可能な時間帯は13～15時

場所：中谷研究室

上記日程に限らず、興味のある分野・テーマについては連絡担当者

者に個別に連絡することで、随時オープンルームを行っています。

アドルフ・ロース研究出版ゼミ

建築家アドルフ・ロース（1870-1933）の著作集（全3巻）の翻訳・出版および考察をおこなう。

彼の論稿の邦訳は、実はきわめて僅かである。本ゼミではロースの全著作集を、ドイツ語初版から邦訳している。翻訳者に専門家を迎え、鈴木了二研究室と合同で研究を行っている。参加者はヨーロッパにおける近代建築の胎動を文化背景から知ることができるであろう。本年度は、昨年引き続き著作集2『Trotzdem』の翻訳を進め、著作集3『Die Potemkinsche Stadt』へ着手する。成果は書籍として順次刊行予定（著作集1『虚空へ向けて』2012年4月刊行済）である（芳野）。

尖端アーカイブゼミ

写真、図面、書籍、論文、手紙…、様々な形態の資料を、適切に保存・公開するためにアーカイブズネットワーク構築を行うゼミ。重厚長大型ではなく、自律分散型をめざす。基盤として、WAAなど早稲田建築の資料群の継続したアーカイブス活動を行っている。今年度の活動予定としては、吉阪隆正研究／岡田信一郎研究／本庄倉庫展示プロジェクトを行う。吉阪隆正研究は今後三年間、U研究室所蔵の吉阪資料の整理活動と研究考察を行う。岡田信一郎研究では、岡田信一郎記事の寄稿および、図面資料（国会図書館蔵）・写真資料を利用した連動企画展を行う。また本庄煉瓦倉庫保存活用プロジェクトと連携し、同市郷土資料のアーカイブと展示活動、運営提案を行う（吉田）。

建築史系研究室 選考日

中川研究室 日時：2月27日 15時～17時

場所：中川研究室

中谷研究室 日時：2月27日 13時～17時

場所：中谷研究室

卒論着手条件：原則として学部3年生までの「建築専門必修科目」の履修を済ませておく必要がある。その他に建築史系の科目の履修を済ませていることが望ましい。

1. ウィーンの建築運動研究
オーストリア工作連盟と建築家ヨーゼフ・フランク
(根来 miwa.negoro@gmail.com)

2. ウィーンの建築家研究
(芳野 maoyoshino@gmail.com、渡辺 supernabex@gmail.com)
フレデリック・キースラー、リチャード・ノイトラ、ハンス・ホラインなど

3. チェコのアドルフ・ロース研究
(渡辺 supernabex@gmail.com)

4. ロース以前（新古典期）の建築家との比較論 —装飾・被覆・古典的モチーフを通して—
(渡辺 supernabex@gmail.com)

1. 建築家岡田信一郎と赤十字社資料研究
(吉田 118128a@gmail.com)

2. 建築家中村順平「建築図画」・「RTO 乾板」研究
(吉田 118128a@gmail.com)

3. 吉阪隆正資料研究
(廣瀬 shotarohirose@gmail.com)

4. 早稲田建築映像アーカイブの構築と提案
(吉田 118128a@gmail.com)

※中谷研究室選考に関する注意

志望動機について、10分程度の面接を行う。面接には志望理由書（書式自由）を持参する。適宜、講義、作品成果、ポートフォリオ等の各自の資料を持参することは自由である。判断結果は入室の確約を学生側に求めるものではない。選考に参加し入室を承認された学生は、複数の他研究室の選考を経た後においても本研究室への入室を希望することが可能である。なお当日の参加が困難な場合は、前もって上記連絡先に連絡すること。別途日程を指示する。